

女性医師支援センター 便り

医学生・研修医のためのキャリアパス相談会 女性医師支援セミナー（仙北地区） 公立黒川病院との意見交換会

1) 医学生・研修医のためのキャリアパス相談会

今年で3回目になる「医学生・研修医のためのキャリアパス相談会」が、平成30年2月14日に盛会に終了しました。

「医学生・研修医のためのキャリアパス相談会」というと、お読みになっている方はきっと、ブース毎に分けられた白テーブルとパイプ椅子に、相談に来た女子医学生とキャリアを積んだ女性医師とが対面している様子を思い浮かべるのではないのでしょうか？いえいえ、この相談会は美味しいランチをいただきながら女性医師と女子医学生が交流する場で、一見誰が学生で誰が医師かわからないほど打ち解けた雰囲気の中で進行するランチ会です。

前東北大学病院長の下瀬川徹先生が発足された東北大学病院女性医師支援室のメンバー（室長：藤原実名美先生）が主催し、宮城県医師会女性医師支援センターの全面的な後援により、本相談会は今年で3回目を迎えることができました。女性医師特有の課題に関する情報を共有したり、自分の悩みや心配を共感したりアドバイスをあえる、女性医師・女子医学生の“カフェ”的存在と（勝手に）思っています。

年々参加者は増加傾向で、今回は計30人を迎え、大盛会に終わりました。女性医師支援室のメンバーを中心に女性医師が

12名、女子医学生が18人（5年生7人、4年生1人、3年生10人）の参加者でした。想定以上の参加人数で、準備したお弁当や飲み物が不足するなど、次年度への嬉しい課題が残る第3回目となりました。例年と異なった点は、3年生、4年生の参加者が増えたことです。これまで、参加を呼びかけやすい臨床実習中の5年生の参加者が多い傾向でした。3年生や4年生の参加は、医学教育推進センターの加賀谷豊教授のご高配で始まった1年時・4年時に行う「ワークライフバランス」の講義による影響かもしれません。

年1回の開催ですが、世代や診療科を越えたこの相談会（ランチ会）が、宮城県医師会と東北大学病院の1つの架け橋となればいいな、と思っています。

（宮城県女性医師支援センター委員、東北大学病院女性医師支援室副室長 福與なおみ）



NO PHOTO

ランチ会風景

2) 女性医師支援セミナー（仙北地区） 公立黒川病院との意見交換会

去る2月23日（金）午後6時半に公立黒川病院を訪問しました。本郷道夫管理者に迎えられ、女性医師は多くないけれど、多くの女性が働いているので、働き方改革には大いに興味があると、ご挨拶をいただきました。続いて宮城県医師会の櫻井芳明副会長は、ここ十数年で女性医師を取り巻く環境はハード面でもソフト面でも少しずつよい方向に向かっているようだと挨拶がありました。

私は、宮城県女性医師支援センターの今までの取り組みについてご説明しました。特に昨年は、イクボス大賞（病院施設）、特別賞（個人）を設定し、それぞれ国立病院機構仙台医療センター（橋本省院長）、仙台赤十字病院産婦人科谷川原真吾副院長が選ばれ、表彰されたことを報告しました。女性医師のライフイベントを支援し、キャリアアップをすすめる職場、上司は今後ますます増えていくことを念じております。今回の訪問も仙台市内、仙北、仙南の基幹病院訪問の一環ですが、このように訪問させていただくと私たちの事業内容を理解していただくとともに、院内の問題点など話し合うことができ、大変有意義だと思います。

「私の経験」と題した公立黒川病院内科筒井美穂先生のお話では、時短勤務で在宅や外来業務をこなし、当直やオンコール免除され他の医師に負担をかけているのではないかと負い目を感じているということでした。私は「一生育てするわけではなく、時間的に余裕ができた時点で十分恩返しできますよ。」と励ましました。

総務係長鈴木広明氏は、277名の職員中74%が女性で、医師20名中2名が女性医師の構成であり、年次有給休暇取得率は64.7%とのことでした。残念ながら院内保育所はないので、今後検討したいとのことでした。外部委託を増やし職員の業務を減らす工夫をし、業績を上げているという説明もありました。

公立黒川病院は1市、2町、1村で構成されているので意見の一致をみるのはなかなか難しいというご意見もありましたが、多くの女性が働きやすい環境にはやはり院内、近隣の保育所が必要と思われます。前向きに検討したいとの管理者のご意見でした。佐々木悦子宮城県女性医師支援センター副センター長の司会で、多くの意見が出て活発な議論が行われました。お仕事でお疲れのところ、意見交換会にご出席の皆様にご挨拶申し上げます。

（宮城県女性医師支援センター長、宮城県医師会常任理事 高橋 克子）

NO PHOTO

本郷道夫先生



高橋克子先生

NO PHOTO

筒井美穂先生

NO PHOTO

鈴木広明氏